

「ひきこもり家族支援外来」を新たに設置 ～家族への支援を通じてひきこもり当事者が受診しやすい環境を～

【ポイント】

- ・北海道大学病院精神科神経科の加藤隆弘教授らのひきこもり支援グループが、社会的ひきこもり状態にある当事者のご家族を対象とした「ひきこもり家族支援外来」を新設。
- ・ひきこもり当事者の対人接触への心理的抵抗等により受診が難しい事例が多く、受診前段階における家族からの相談ニーズが増加。
- ・本外来は、こうしたニーズに応えるため、完全予約制の自由診療として開設され、専門医学的な知見に基づいたご家族への相談支援、および独自に開発した家族支援プログラムを提供。
2026年10月より、具体的な相談および予約受付を開始予定。

【概要】

現在、わが国において「ひきこもり専門外来」へのニーズは非常に高まっています。ご家族が専門的な知見に基づく適切な接し方を学ぶことは、当事者ご本人の受診意欲の向上や病態改善に寄与することが臨床的に広く知られています。しかし、従来の保険診療では、ご本人が不在の家族相談を継続することが制度上難しく、十分な支援が行えないことが課題でした。

そこで当院では、自由診療として家族支援に特化した本外来を開設いたしました。ご家族の孤立を防ぎ、家庭内の悪循環を早期に絶つだけでなく、専門外来へとつなぐ「ブリッジ（架け橋）」としての役割を果たします。

具体的には、初回コンサルテーション（30分～60分程度／20,000円）や、当事者に対する家庭内での支援スキルを高めるために独自に開発した家族支援プログラム（5つのステップ「ひ・き・こ・も・り」）（7,200円）を定期的に提供いたします。医療的な緊急性が高い場合やご本人の受診意欲が高まった場合は保険診療の「ひきこもり専門外来」へご案内することでご家族を通じた間接的な介入から本人の直接的な治療へと円滑に移行いたします。これにより、専門外来における予約キャンセルの抑制と、本院におけるひきこもり支援全体の質の向上・効率化を目指します。

ひきこもり家族支援外来 多職種メンバー写真



【加藤隆弘教授からのメッセージ】



ひきこもりの背景には、うつ病や不安症、統合失調症、発達障害などが併存していることも稀ではなく、適切な治療や支援につながるものが回復の重要な第一歩になります。一方で、精神的な症状や対人不安のために、対面での受診そのものに強い負担を感じ、支援につながりにくいケースも少なくありません。私は2013年、九州大学病院に世界初の『ひきこもり研究外来』を立ち上げ、本人・家族双方への支援法開発を進めてきました。2025年4月からは北海道大学病院を新拠点にして包括的なひきこもり支援体制の構築に取り組んでいます。今回、新たに開設するひきこもり家族支援外来により、ご家族の孤立を防ぐとともに、本人が適切な医療へとつながる架け橋を築いてまいります。

お問い合わせ先

北海道大学病院 精神科神経科 教授 加藤隆弘（かとうたかひろ）

TEL: 011-706-5160 FAX: 011-706-5081 メール: kato.takahiro.secretary@kato-takahiro.com

配信元

北海道大学病院事務部経営企画課広報戦略係（〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目）

T E L 011-706-7631 F A X 011-706-7627 メール pr_office@huhp.hokudai.ac.jp